

BRIDGE_Kit

3D設計CAD V-nasClairシリーズ

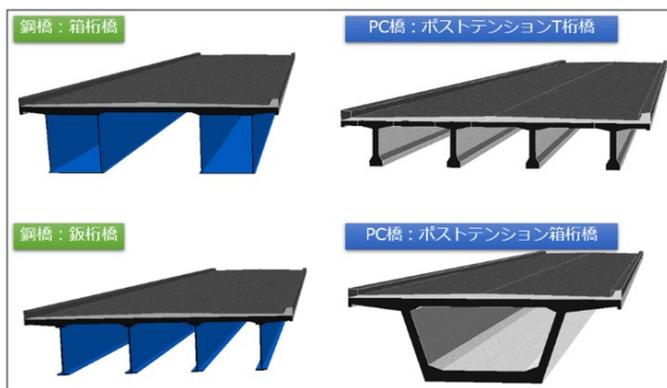
BRIDGE_Kit (ブリッジキット)は、3D橋梁上部構造モデル (LOD200相当)を作成するV-nasClair (ヴィーナスクレア) のアドオン製品です。作成したモデルは、CAD画面で任意の位置に配置することが可能です。LINER_Kit、ROAD_Kitで作成した道路線形と連携することで、路面の幅員や角度を考慮した、道路中心線に沿った橋梁上部構造モデルを簡単に作成することができます。また、STR_Kitで作成した下部構造位置から、上部構造モデルの配置位置を自動で取得します。

製品特長

1 | 橋梁上部構造物の形状を簡単にモデル化

▶ 主桁モデル

PC橋と鋼橋の4種類の構造形式に対応。



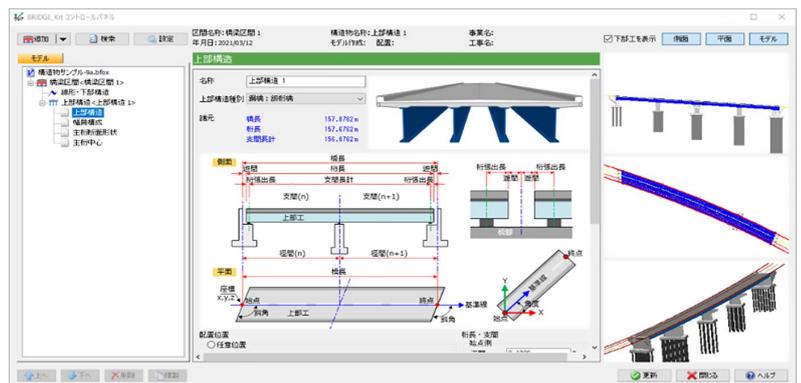
▶ 線形に沿った上部構造モデル

LINER_Kit、ROAD_Kitで作図した道路線形を利用することで、道路幅員・縦断計画・横断勾配、斜角や桁高変化にも対応した道路線形に沿ったモデルを作成。



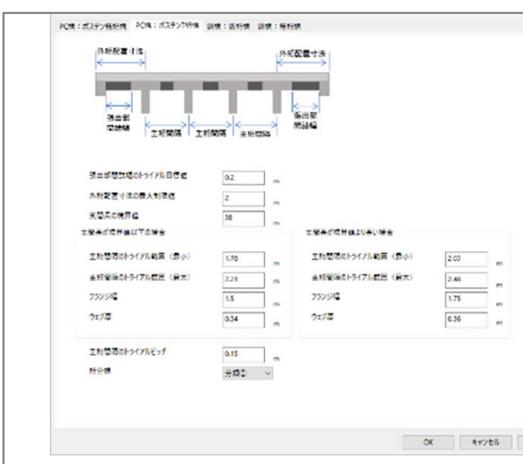
▶ 専用入力画面で形状入力

上部構造種別に応じた形状や主桁本数を入力し、図面上の任意位置へ上部構造モデルを素早く作成。
入力画面に配置位置や形状のプレビュー表示。



▶ 断面自動決定

指定した支間長に応じた断面形状寸法の自動設定が可能。



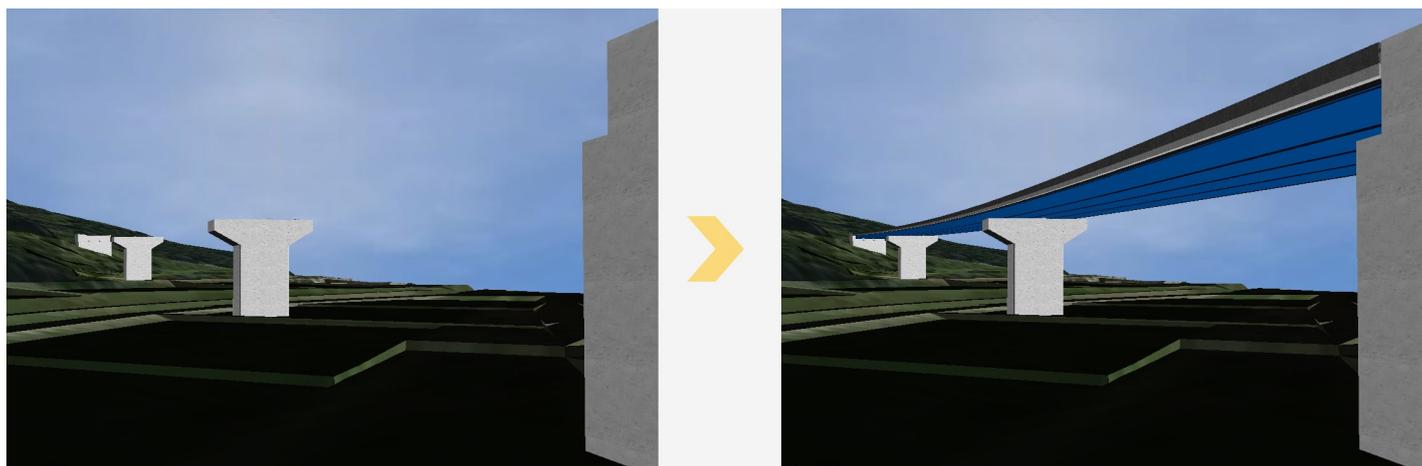
▶ 桁高変化

上部工モデルは2次変化などの桁高変化に対応。

径間番号	径間長	区間	区間長	桁高	実化タイプ
1	70.0000	一定区間	2.0000	1.3000	2次
		実化区間	66.0000	5.0000	
		一定区間	2.0000	5.0000	
2	110.0000	一定区間	2.0000	2.0000	2次
		実化区間	46.0000	5.0000	
		一定区間	10.0000	2.0000	
3	70.0000	一定区間	2.0000	5.0000	2次
		実化区間	66.0000	5.0000	
		一定区間	2.0000	1.3000	

2 | 下部構造モデルとの連携

STR_Kit で作成した下部構造データを参照することで、上部構造モデルの自動配置や、始点・終点位置の斜角を自動調整します。



STR_Kitでは作成した上部構造モデルに合わせてパラペット高や沓座形状を自動調整します。



動作環境

※必要メモリ等はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

OS

Microsoft Windows 11,10 64bit
※Windows動作保証の最新情報は[こちら](#)

記憶装置

10GB以上の空き容量 SSDを推奨

CPU

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

ディスプレイ

1920×1080以上が表示可能なもの

メモリ

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境